名古屋大学減災連携研究センター「伊勢湾台風から６０年」記念事業

シリーズ・伊勢湾台風から60年：特別シンポジウム(2)

「伊勢湾台風をどのように語り継ぎ、伝えるか？」

伊勢湾台風襲来から60年が経過した現在、伊勢湾沿岸地域など被災地域を中心とする啓発機関では、さまざまな視点からそれぞれに趣向を凝らした行事や展示を行い、当時の記憶を留め、伝えるように努められています。

名古屋大学減災連携研究センターのクラウドファンディング事業「迫りくる！スーパー伊勢湾台風に備えるために」の一環として実施する特別シンポジウムの第二弾としては、名古屋市周辺の被災地域の展示・啓発施設の取り組みを紹介いただきながら、さまざまな側面を有する伊勢湾台風の影響を俯瞰することにより、高潮および洪水による長期・広域浸水がもたらした被害の実態を振り返り、迫りくるスーパー伊勢湾台風に備えるために伝えるべきことは何か、市民の皆さまとともに考えたいと思います。

2019.

11月20日㈬

13:30~16:30

名古屋大学減災館減災ホール

入場無料

申し込み不要

※講演の撮影・録音はご遠慮ください。

※駐車場はありません。必ず公共交通機関をご利用ください。

プログラム

13：30～13：35	開催趣旨	野田利弘 名古屋大学減災連携研究センター

話題提供（1人20分）

13：35～13：55	「濃尾平野における輪中堤から連続堤への変化」	中村晋一郎 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻
13：55～14：15	「特別展　治水・震災・伊勢湾台風」を振り返って	鈴木 雅 名古屋市博物館
14：15～14：35	「伊勢湾台風資料室」の取り組み	阪口泰子 名古屋市南図書館
14：35～14：55	「伊勢湾台風 60 年企画展」を実施して	大場玲子 名古屋市港防災センター

パネルディスカッション
15：10～16：30

「伊勢湾台風、本当に伝えるべきこととは？」

コーディネーター：	荒木裕子	名古屋大学減災連携研究センター
パネリスト：	鈴木 雅	名古屋市博物館
	大場玲子	名古屋市港防災センター
	阪口泰子	名古屋市南図書館
	中村晋一郎	名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻
	堀田弥生	防災専門図書館 / 防災科研自然災害情報室
	堀田典裕	名古屋大学大学院環境学研究科建築学系
	田代　喬	名古屋大学減災連携研究センター

主催：名古屋大学減災連携研究センター
後援：自然災害研究協議会中部地区部会